

Be My Self

～自分らしく、ありのままに～

社会福祉法人千葉県福祉援護会 障害事業部



【桜の木 作：障害者通所施設オーヴェル 生活介護ご利用者の皆様】

【Contents】

- ◆障害者通所施設 アトリエ プレジュ P1
- ◆障害者支援施設 誠光園 P2
- ◆障害者支援施設 ローゼンヴィラ藤原 P3
- ◆障害者通所施設 オーヴェル P4
- ◆Topics / Fun!Fun!News P5





『バレンタイン Day お菓子作り！』

今年も2月14日のバレンタインデーにお菓子作りを楽しみました。今年で3回目となる企画ですが、今回はチョコスティックケーキとチョコレートパバロアを作りました。まずは、材料のチョコレートや卵、グラニュー糖などを混ぜ合わせていきます。ご利用者も職員も、エプロンと三角巾をつけて、チョコレートの甘い香りのなか、作業を進めました。ケーキは、オーブンに入れて焼き上げ、パバロアは型に入れて冷蔵庫に入れて冷やします。出来上がったケーキやパバロアには、ご利用者思い思いのデコレーションをして完成です。自身で作ったお菓子を食べながら、午後はお茶会を楽しむことが出来て、ご利用者も大満足の1日となりました。新年度も楽しい企画を考えていきたいと思ひます。



生活サービス課 塩田 敦子



『LEGO'S 創作活動！』

LEGO'S グループでは、3月の雛祭りに向けてひな人形のガーランドを作りました。ガーランドとは、天井や壁に飾るフラッグ状のインテリアのことです。まずは、フェルトを形に切り、重ね合わせていきます。細かい作業でしたが、職員と一緒に豊かな表情のお内裏様とお雛様を作ることが出来ました。



生活サービス課 吉田 志保



『RODY'S 創作活動！』

RODY'S グループでは、4月のイースターの創作を行いました。イースターとは、キリストの復活を祝うお祭りですが、イースターのシンボルである卵の形をした小物入れを作りました。カラフルな卵に、オリジナルの装飾を付け加えていきかわいい小物入れが完成しました。



生活サービス課 塩田 敦子



障害者支援施設 誠光園

(施設入所支援・生活介護・短期入所・日中一時支援・相談支援)

〒274-0081 千葉県船橋市小野田町 769-18

TEL.047-457-6636 FAX.047-457-6637

メールアドレス ; seikouen@engokai.or.jp

「本館：音セラピー♪」

3/17(日)、本館では講師の藤井先生による音セラピーを行いました。音セラピーは毎月行っていますが、藤井先生が来園するのは3ヶ月に一度。他の月は職員が担当し、歌や楽器の演奏などを行っていますが、やはり藤井先生は特別です。まずは、ドビュッシー作曲による「月の光」を鑑賞しました。優しくロマンティックな曲の雰囲気と本格的なピアノ演奏に普段はあまり音楽に興味のない方も耳を傾けうっとりとした表情で生演奏を楽しまれました。そのあとの発声訓練として行ったシャボン玉を使った呼吸法の練習では、小さいシャボン玉がたくさん出ると「わあ、すごーい」と歓声が上がりました。その他にも春の曲をみんなで歌ったり、ハンドベルで演奏したりと先生のプログラムを十分に堪能する事が出来ました。

生活サービス課 進藤 明美



「地域交流の集い」

3/16(土)、船橋市の社会福祉協議会が開催する「障がい者・ボランティア交流の集い」に参加しました。船橋市内の福祉事業所やボランティア団体の方が集まり、バンドの演奏や踊りの披露などを行いました。私たち誠光園は音楽サークルで活躍するご入居者により「明日があるさ」「ヤングマン」を発表しました。特にヤングマンでは会場の方も一緒に「Y!M!C!A!」と掛け声を合わせ、みなさんと盛り上がる事が出来ました。他団体の発表もそれぞれ特徴があり「こういう曲もやってみたいね」とのお話もありました。そしてお待ちかねの抽選会では自分の番号が出ると「当たった!」と嬉びの声を上げ、ジャムや巾着など手作りの物を頂きました。これからもこのような活動を通じて地域との交流を大切にしていきたいと思えます。

生活サービス課 藤田 隆志



「通所：春の味覚といえば」

3/16(土)、通所ケア係は春の外出行事としてイチゴ狩りに出掛けました。1月に出来たばかりの船橋市内にあるイチゴ園で、誠光園からは15分ほどの距離です。イチゴが植えてあるビニールハウスの中はとて広く、車椅子のご利用者も不便を感じることなくいちご狩りを行う事ができました。イチゴはとちおとめ、やよい姫、紅ほっぺ等人気の品種がずらりと並び覚えきれないほどです。採れたて

のイチゴからはいい香りがして一口頬張ると「あま〜い」とにっこり笑顔に。移動しながら食べ比べをする方もいれば、好みの品種をずっと頬張る方、おしゃべりを楽しむ方などそれぞれの楽しみ方であつという間に制限時間の30分が経ってしまいお腹もいっぱいです。最後にはお土産を購入する事も出来て、春の味覚を満喫する事ができました。

生活サービス課 利野 清



障害者支援施設 ローゼンヴィラ藤原(壱番館)

(施設入所・生活介護・短期入所・日中一時支援・放課後等デイサービス・相談支援)

〒273-0047 千葉県船橋市藤原 8-17-1

TEL.047-430-7900 FAX.047-430-3611

メールアドレス ; rv1@engokai.or.jp

通所 卒業祝い

3月の卒業シーズンとなり、当施設でも卒業祝いを行いました。放課後等デイサービスでは高校生4名、中学生1名、小学生2名のご利用者がそれぞれ学校を卒業されます。

施設長からの「おめでとうございます」の言葉とともに記念品を受け取ると、皆さん真剣な表情をしていてとても凛々しかったです。中身はアルバムと名前入りのキーホルダー。お迎えに来たご家族からは「キーホルダー可愛いね。新しいバッグに付けようか」「アルバムだって！帰ったらゆっくり見ようね」と、子ども達との会話も弾んでいました。

高校を卒業された皆さんとはお会いする機会が少なくなってしまうのが寂しいですが、新しい環境でも元気に笑顔で過ごしてくださいね。卒業生の皆さん、おめでとうございます！

生活サービス課 東 明宏



ひな祭り

2月中旬、今年も雛人形の飾りつけを行いました。現代はコンパクトな雛人形が人気のようですが、壱番館は7段飾りの大きな雛人形です。お内裏様とお雛様、三人官女、五人囃子。そして下から3段目にいる3人の男性をなんとご存知ですか？「仕丁」（“しちょう”または“じちょう”）という宮中の雑務を担う役割で、その顔は泣き、怒り、笑いを表しており、表情豊かな子に育つようにとの意味があるそうです。

飾り終わるとご入居者が代わる代わる見学に来られ、「綺麗ね」「可愛いね」「私の家にもあったよ」と思い出話などを楽しんでいる様子。「記念撮影しましょう」とカメラを向けると、皆さん素敵なお顔をを見せてくれました。

生活サービス課 宮崎 裕輔



新鮮なお寿司が 食べ放題

3月13日〜15日、フロア毎に握り寿司イベントを開催しました。8種類のお寿司が食べ放題という事で、食事の前から皆さんウキウキと嬉しそうな様子でした。生ものを提供できる期間は限られている為、お腹いっぱい召し上がって頂けるイベント食は厨房職員も気合が入ります。和食が専門の調理師さんが目の前で握るお寿司は予想通り人気で、握るのが追い付かずしてこ舞いだった場面もありました。普段は偏食気味なご入居者がこの日はいちばんに食べ終え、お代わりまで召し上がっていた様子には職員もびっくり！「いくらには無いの？」「大トロ食べたい！」など、大きな期待を膨らませるグルメなご入居者もいましたが、そこは予算と相談ということで・・・(笑)

生活サービス課 佐藤 直美



障害者通所施設 オーヴェル

(機能訓練・生活介護・就労継続支援 B型)

〒273-0047 千葉県船橋市藤原 8-17-2
TEL.047-430-0500 FAX.047-430-0529
メールアドレス ; ovel@engokai.or.jp

就労継続・生活介護・機能訓練 節分

オーヴェルでは去年に続き、生活介護・機能訓練・就労継続支援B型の合同で、恒例の豆まきを行いました。普段と違う大人数の顔ぶれに、ご利用者も最初は緊張されていましたが、豆が配られると隣り同士で「頑張って鬼をやっつけよう」と気合十分に！昨年は女性の可愛い赤鬼が登場したのですが、今年は赤鬼の復讐を企てた恐ろしい鬼が登場！あまりのリアルさに本気で怖がってしまう方もいたほど。しかし皆さんついには恐怖を跳ね除け、力を振り絞って何度も「鬼は外！」と豆を投げつけました。その勢いには鬼もたまらず退散！見事に鬼退治を終えた頃にはオールオーヴェルの一体感が生まれ、全員で万歳三唱！無事に邪気払いを終えることが出来ました。今年も皆さんに沢山の福が訪れますように。



生活支援員 中尾 早織



生活介護 春の訪れは桜とともに

春の訪れを感じるものと言えば、皆さんは何を想像しますか？

穏やかな気温で日差しが気持ち良かったり、山菜が美味しかったり、寝ても寝ても眠いなんてことも春ならではかも知れませんね。でも、一番はやっぱり！桜の開花ですよ♪

オーヴェル生活介護のフロアには柱が立っています。まるで大きな“幹”が生えているようで、これを何かに利用する方法はないものかと。まるで冬のつぼみが綻びを夢見て春を待つかのように、長い間そんなことを考えていました。そして、ついに思いついたのです。この“幹”に花を咲かせようではないかと！芽吹いたつぼみが花を開くには「暖かい日差し」が必要です。お花紙を折って、開いて、貼り付け。初めは桜の花を表現することが難しく試行錯誤の連続でしたが、たくさんのご利用者の皆さんがそれぞれのできることを協力し、また「その花きれいだね」「こうするともっと桜に見える！」と意見を出し合うことで段々と形になっていき、ついに納得のいく桜の花が完成しました。

枝が伸び、ひとたび花が咲くと後はもう開花ラッシュ！暖かい春の日差しのような皆さんの笑顔と愛情をたくさん浴びて、日を追うごとに無機質だった天井の一角が桜色に覆いつくされていきました。それはオーヴェル

を長くご利用されている方からも

「こんなに感動する桜を見るのは初めてだわ」というお言葉が漏れるほどで……。ローズストリートの桜に一輪の花が開く頃には、オーヴェルでは一足お先に満開の桜で春の訪れを楽しむことができました。

生活支援員 宮内 亮



TOPICS!

オーヴェルのくるみブレッドが、美味しく更に食べやすくなりました。



ハーフ:200円 1本:400円



手づくりパンのお店 オーヴェル

～商品価格改定のお知らせ～

原材料費が大幅に高騰するなか、価格を維持するため努力してまいりましたが、残念ながら値上げに踏み切らざるを得なくなりました。つきましては 4月1日(月)より新価格での提供とさせていただきます。今後もお客様に喜んでいただける商品を提供するべく努力してまいりますので、引き続きご愛顧いただきますようよろしくお願い致します。

改定後の価格 ; 130円商品→140円 160円商品→170円 190円商品→200円

Fun!Fun! News

“元号”って何かご存知ですか？

元号とは年を記録する方法の一種です。645年の大化の改新で「大化」という元号が用いられたのが最初で、以来現在まで続いています。改元のタイミングは、江戸以前は革命や天災など大きな出来事があった時、明治以降は新たな天皇の即位による時で、今までに247もの元号が用いられてきました。ちなみに最も短い期間は「暦仁(りやくにん)」の2ヶ月と14日、最も長い期間は「昭和」の62年と14日です。

ありがとう “平成!” ようこそ “令和!”

4月1日に発表された新元号「令和」は「人々が美しく心を寄せ合うなかで文化が生まれ育つ。梅の花のように、日本人が明日への希望を咲かせる国でありますように」という願いのもとに制定されたと報道されています。引用元となった万葉集の中にある「令月」という言葉には「何をするにも良い月、めでたい月」という意味があり、幸先の良い時代のスタートを連想させます。

令和となって最初の大きなイベントは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでしょうか。各国からお客様を迎え入れるなかで多様な文化に触れたり、新たな交流が生まれることもあるかもしれませんね。「令和」に込められた思いが現実となるような良い時代にしていきましょう。



「Be My Self」をお読みいただき、誠にありがとうございます。各事業所の情報などを分かりやすく、皆様にお伝え出来るように心がけていますが、ご意見・ご感想など御座いましたら、各ページ上部にある連絡先までご一報下さい。

